

県感染症情報センター

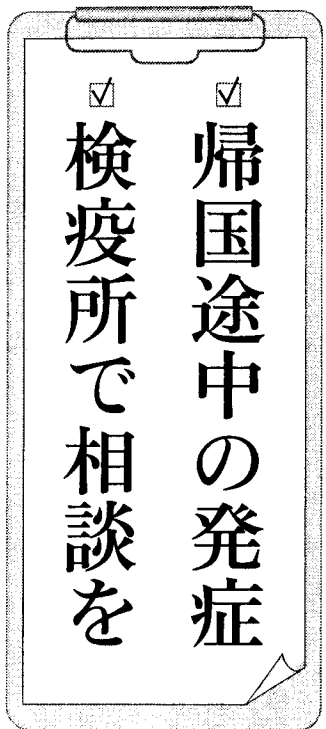
声なきを知る ◆ 4 ◆  
感染症

前回に引き続き「輸入感染症」について紹介します。今回は、新しい感染症「中東呼吸器症候群」と、日本国内での流行は少ないものの、発展途上国ではよく見られる感染症「A型肝炎」についての解説と、帰国後の注意点について話します。

▽新しい感染症「中東呼吸器症候群」(MERS) 2012年、中東諸

国で新種のMERS (マーズ) コロナウイルスを原因とする肺炎を発生する感染症が発生しました。これまでに確認された感染地域は、ヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦などです。これらの国から帰国後に発症が確認された人々は、18カ国(フランス、ドイツ、イタリヤ、チュニジアなど)に及んでおり、世界的な拡大が懸念されています。

▽新しい感染症「中東呼吸器症候群」(MERS) 2012年、中東諸国で新種のMERS (マーズ) コロナウイルスを原因とする肺炎を発生する感染症が発生しました。これまでに確認された感染地域は、ヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦などです。これらの国から帰国後に発症が確認された人々は、18カ国(フランス、ドイツ、イタリヤ、チュニジアなど)に及んでおり、世界的な拡大が懸念されています。



岡山、大阪府、鹿児島県、広島県、東京都、兵庫県などでは、例年と比べ増加しています。

ほとんどが国内で感染したのですが、今年の感染者の1割程度はフィリピン、韓国、タイ、ネパール、パキスタンなどの渡航先で感染したことが確認されています。特に、下水道設備が不備な所では、生水は飲まず、沸かした水がミネラルウォーターを飲む、生野菜は食べないなどが予防につながります。

▽帰国後に注意すること  
帰国途中に具合が悪

▽ 帰国途中の発症  
▽ 検疫所で相談を

マスクを着用するなどの対策が必要です。

▽A型肝炎  
A型肝炎とは、肝臓に炎症を起こす病気で、風邪によく似た症状から始まり、時には黄疸(おうだん)症状が現れたりすることもあります。

感染経路はA型肝炎ウイルスに汚染された水を飲むことや、汚染した力キや貝類を生で食べたことから感染することもあります。

今年、国内で確認された患者は、これまでに350人を超す報告があります。中でも福

くなつたときは、空港や港の検疫所で、必ずご相談してください。また、A型肝炎などは潜伏期間が約1カ月で、帰国後しばらくたって具合が悪くなることがあります。

異常を感じたときは、感染症を専門とする医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、渡航先で気になった事柄を告げることが、適切な治療を受けることにつながります。

(県感染症情報センター) 第2木曜日掲載